

親切運動の取組について

学校名 魚津市立西部中学校

生徒数 412名

1 親切運動の取組の紹介

「地域学校協働活動」

生徒の力が地域の活力になるよう、生徒会を中心に活動した。6月上旬に魚津神社祭礼後に清掃を行った。地域への感謝の気持ちを伝えることができ、生徒は短い時間でも充実感をもつことができた。地域の伝統行事「じゃんとこい魚津まつり中学生せり込み蝶六踊り街流し」や地域の運動会運営ボランティアに参加した。こうした活動を通じて、生徒は協力する喜びや地域を大切にする気持ち、地域の一員として貢献する意識が高まった。



2 「安心して過ごせる学校」

生徒会執行部が中心となり、安心して過ごせる学校にしたいという思いのもと、「1人1言選手権」を行った。この活動は、自分自身の得意なことを他者と共有するというものである。付箋に記入し、学年フロアに掲示した。この活動を通して、普段なかなか気付けない友達のよいところに気づき、他者を尊重することの大切さを学んだ。



「人権週間」

今年度の人権週間の目標として

- ① 『精力善用』の精神を培い、差別や偏見に対する意識を高め、自他ともに尊重し合うこと。
- ② 自分の考えや気持ちを適切かつ豊かに表現し、的確に理解することができるような、伝え合い分かち合うためのコミュニケーションの能力を身に付けること。

これらの目標を達成するために、まず、代表生徒の人権作文の朗読を聞いて、感想の共有を行った。朗読では女子生徒がスラックスを着用することについて語られ、性別などの違いを受け入れることの大切さに気付くことができ、自分らしさを尊重することを学んだ。「サンキューカード」という活動では、日常のなかで見つけた、友達の素敵だと思った行動を用紙へ記入し、友達へ伝えるという活動を行った。この活動を通して、お互いを認め合う雰囲気が育ち、安心して過ごせる学校につながった。

2 親切運動に取り組んで

・取組の成果

生徒会執行部が中心となり、どの活動にも生徒たちが主体的に取り組んでいた。地域の一員としての地域に貢献する意識を高めることにつながった。

・課題と今後に向けて

生徒同士・地域とのつながりを大切に、生徒主体となる活動を今後も検討していきたい。